

〈十二月の言葉〉

（株）タニサケ創業者 松岡会長の言葉

〈主観と客観〉

寿司をにぎってこの道三十年の
頑固おやじがいました。

そこへお客が来て寿司を食べるなり 「まずい」と
いいました。

おやじは怒って 「オレは三十年寿司を握っている、
お前に何が分かる」と言ったら、

お客は 「ワシは五十年寿司を食っている」と言い
ました。

お客さんはほかの店もあちこち行って寿司を食べ、
サービスを見ているが、おやじは自分のお店しか知
らないのです。

お客さんの意見は謙虚に耳を傾けなければなりま
せん。

客観とは、お客さんや相手の立場で、ものごとを見
ることを言うのです。